

評価年度

令和 6 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町西部児童館
指定管理者名	特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘
指定期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	・場 所：利府町菅谷台三丁目16番地 ・敷地面積：1,465.86㎡ ・建物概要：鉄筋コンクリート造 2 階 建築面積 393.95㎡ 延床面積 512.03㎡ 駐車場 16台 駐輪場 17.64㎡ ・主な施設：乳幼児室、児童クラブ室、図書・集会室、調理・工作室、遊戯室
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
前年度来館者数合計(人)	18,562	18,876	18,649		
今年度来館利用者数合計(人)	18,876	18,649	20,005		

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	児童館事業の参加数(人)
指標式と指標の説明	児童館事業（「子育て広場」を除く）に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(人)	1,338	1,879	2,181		
実績値(人)	1,879	2,181	3,238		
達成度(%)	140.4%	116.1%	148.5%	#DIV/0!	#DIV/0!

指標 2

指標名（単位）	子育て広場利用者数（人）
指標式と指標の説明	児童館事業「子育て広場」に関する利用来館者数を図るものとする

項目(単位)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目標値(人)	702	693	727		
実績値(人)	693	727	1,071		
達成度(%)	98.7%	104.9%	147.3%	#DIV/0!	#DIV/0!

評価（5段階）	評価理由
S	新型コロナウイルス感染症が第5類に変更になり、事業等を実施できるようになったことが大きい。しかしながら、不特定多数の利用者がいる児童施設であるため、今後も感染症対策をしっかりしながら、来館者数を増やしていきたい。

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業

① 児童館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館	4月～3月	「3つ（笑顔・仲間・支え合い）のいっぱいを増やす。」そして、「利用者また地域の方一人ひとりとのつながりを大切にする。」を重点目標に掲げ、利府西部地域の方々や関係機関との連携を強化し、こどもたちの居場所について考え実践してきました。
児童クラブ	4月～3月	こちら「3つのいっぱいを増やす。」そして、「こどもたちと保護者の方々一人ひとりとのつながりを大切にする。」を重点目標に掲げ、こどもが自発的に児童クラブに通える様に、生活の中で以下の7つの項目を意識しデイリープログラムを充実させます。 ①あそび・②くつろぎ・③生活に必要なこと・④自主的に学習する・⑤集団で生活するために必要なこと・⑥静養する・⑦季節の行事また文化的活動を行い、安心と安全に留意しながら運営しました。
子育て広場	4月～3月	子育て支援は「0～18歳まで」ということを再確認し、産後からではなく、妊娠期からの切れ目のない支援を様々な機関と連携しながら実践してきました。 それは妊娠期からの子育て・乳幼児親子の活動など、親子一緒になって楽しむ身体あそび・絵本の読み聞かせ・工作や音楽あそび等みんなで楽しさを体験できる場を提供し、また「親と子の育ちの場」としてコミュニケーションを大切に実践しました。

(2) 提案事業

① 児童館 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
みんなであそぼう	5月～2月	こどもたちの「やってみたい！」を吸い上げ、工作・運動や調理など、みんなで楽しめる行事を実現しました。
こどもボランティア	5月～2月	小学4年生～中学生を対象とした活動で、こどもボランティアとして、児童館行事のお手伝いや、自分たちで企画した行事を実施しました。「菅谷台納涼祭の準備」や地域の清掃活動なども行いました。
スタッフカレー わんこそうめん	5・8月 7月	地域の方々と結成する「更生保護女性会」の方々と一緒にふれ合う企画を実施。お互いに顔の見える関係ができ、世代間交流にもつながりました。
ハロウィンおばけやしき	10月	年に1回の収穫祭「ハロウィン」にちなんで、今年は「おばけやしき」を実施。仮装した子もあり、一緒に工作を行いました。最後にこどもたちと一緒に集合写真を撮り、一人ひとりにお菓子も配りました。
じどうかんまつり	2月	昨年「節分」を題材にした企画（あそび・食べ物・工作など）でリニューアル。午前中は乳幼児親子、午後は小学生以上を対象に催し物を行い、自然塾・ジュニアリーダーなど様々な方からも協力をいただきました。

②児童クラブ 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
プラバンづくり	5月	こどもたち一人ひとりが、好きなキャラクターをキーホルダーにする企画。 プラバンの形ができるまでの光景に、こどもたちはとてもワクワクしていました。
じゃがいも掘り	7月	こどもたち自身が、館庭の畑の土づくりから育て収穫する企画。 たくさん（コンテナ2個分）収穫でき、8月のカレー行事の時にみんなで食べました。
クリスマスお楽しみ会	12月	普段の活動の中で、こどもたちがグループに分かれ自発的に企画し、日頃の遊びの中で練習した出し物を、みんなの前で披露するお楽しみ会を行いました。
大掃除大作戦	12月	「日頃使用している部屋の汚れを落とす。」という目的を持って、こどもたち一人ひとりが力を合わせて、きれいにし普段の活動もみんなで振り返りました。
りふ〜る☆駄菓子屋さん	3月	日常のおやつ時間をより楽しみに。そして自身で限られた予算で考えて選び、高学年が店員役として、異学年との交流をより深めました。

③子育て広場 提案事業

主な事業名	実施時期	内容
『はい！タッチ』 ・きら☆リズム、ナーサリーリズム	5月～2月	音楽で遊ぶ「きら☆リズム」。英語のわらべうた・ふれ合い遊びを体験する「ナーサリー広場」。その2つと一緒に「ナーサリーリズム」を統合し活動しました。
おはなしのへや	5月～2月	スタッフやいろいろなゲストが絵本・紙芝居の読み聞かせや手遊び 等をして、「こどもを言葉でかわいがる。」ことの実感する機会を設定しました。
（登録制） 幼児クラブ	5月～2月	乳幼児親子が、楽しく遊びながら地域で友だちをつくり、孤独な子育てをしないように支援しました。こどもたちがいる生活をもっと楽しませたい。親子の「こんなことがしたい！」を応援しています。
にこにこタイム	5月～2月	親子のふれ合い遊びをテーマに、季節に合った遊びや制作、各月のお子さんの成長を祝い記録に残しました。

(3)自主事業

主な事業名	実施時期	内容
雪印メグミルク 食育体験セミナー	7月	雪印メグミルクの方を講師にお招きし、牛乳を飲む事の大切さ・牛の体の特徴を学び、その後バターづくりにチャレンジし、クラッカーにつけておいしくいただきました。
海であそぼう in 浦戸野々島	7月	利府町内の3～6年生を対象に、浦戸野々島に行き、島の方々と一緒にお手伝いやカヌー・カヤック・島めぐりをするデイキャンプを実施し、交流を図りました。
みんなであそぼう ハーバリウムボールペンをつくらう	11月	こどもたちの「やってみたい！」を、こどもボランティアから吸い上げ実施。 各自オリジナルのボールペンづくりを楽しみました。
けん玉ワークショップ	2月	石巻より「ストリートけん玉」の講師を招き、けん玉の楽しみ方や技を習った。 参加者だけでなく、乳幼児親子の見学者たちも一緒に盛り上がり楽しんだ。
児童館サポート研修	5月～2月	児童館・放課後児童クラブの職員が常に向上心を持ち、利用者が楽しんで過ごしてもらうための専門職として、必要不可欠な勉強会となりました。

評価（５段階）	評価理由
S	新型コロナウイルス感染症が第5類に変更したため、安全対策を講じながら様々な事業を展開した。 また、今年も外部機関との連携を図りながら活動を充実させている。

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	児童館児童クラブ利用者アンケート（対象者：自由来館者、児童クラブ利用者）
目標値の基準	2年前にGoogleフォームでアンケートを集計したが、なかなか集まらなかったため、紙媒体に戻し、1か月間実施。回収目標を10%底上げの50%にしました。

項目(単位)	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値(%)	40.0%	40.0%	50.0%		
実績値(%)	53.0%	25.0%	60.0%		
達成度(%)	132.5%	62.5%	120.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
利用者アンケート	12月	児童館独自作成の「児童館利用者アンケート（対象：乳幼児親子・自由来館（小・中学生）利用者）」を実施しました。 回答：乳幼児親子 20名、小学生 18名、中学生 22名）
利用者アンケート	2月	管理運営団体より、利用者アンケートを実施しました。 回答：49%→ 27名/児童クラブ実家庭数 55組

評価（５段階）	評価理由
A	昨年の約2倍集まり、自由来館の小・中学生の声も多くいただいたので2つに分けた。 しかし独自の「児童クラブアンケート」も実施するべきだった。また数は集まったが、よりよい児童館・児童クラブ運営に反映させるため、質問項目の見直しも必要だと感じた。 利用している一人ひとりの声をより多く集め、「何を求めているのか。」をしっかり把握し見直したい。

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

項目	令和 6 年度予算	令和 6 年度決算	予算決算比
収入 (a)	43,753,000	43,753,000	0
指定管理料	43,753,000	43,753,000	0
利用料金収入			0
(うち、減免補填額)			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出 (b)	43,753,000	43,753,000	0
人件費	35,800,000	30,487,582	5,312,418
事務事業費	3,495,000	4,040,622	-545,622
維持管理費	1,016,000	710,075	305,925
その他の支出	3,442,000	8,514,721	-5,072,721
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考			

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	健全な財政状況である。
------	-------------

評価 (5 段階)	評価理由
A	指定管理料の範囲内で運営しているので適正である。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町保健福祉部子ども支援課職員が、現地調査によるヒアリング及び資料や施設を確認・実施。
実施時期	令和7年6月26日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適 正	
危機管理	適 正	
人員配置・地元活用	適 正	
現金管理	適 正	
会計・経理	適 正	
情報セキュリティ	適 正	
情報公開・個人情報保護	適 正	
町への報告事項・事前承認等	適 正	

加点事由	具体的内容
無	

評価（5段階）	評価理由
A	基本協定書で指定している管理業務について、すべて適正に行っている。

8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

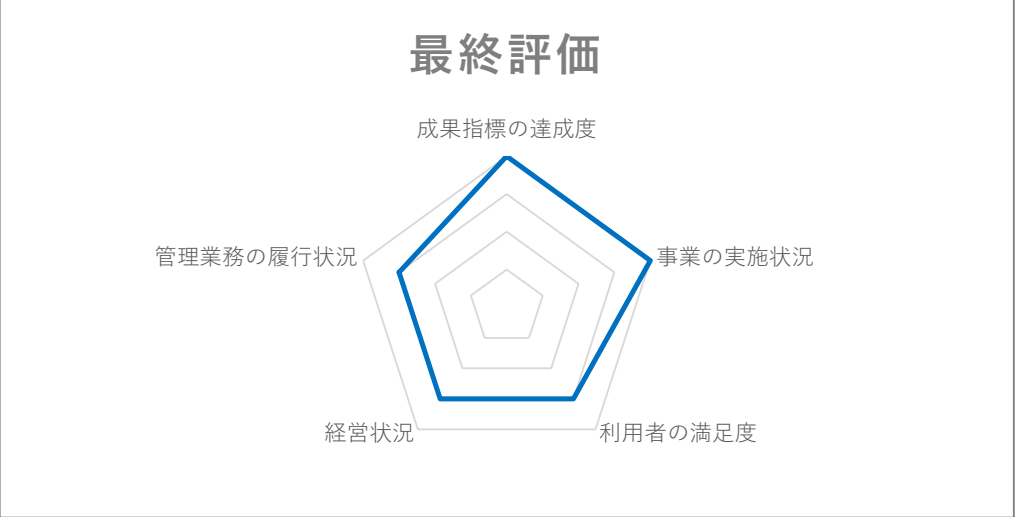
自己評価点数	
60	今後も「みんながふれ合えるように。」という思いを大切に、3つのいっばいを増やし、これからも綺麗で明るい。そして「また来て遊びたい。」と利用者に思ってもらえるような環境をつくれます。 また中央児童センター・利府町児童クラブ・東部児童館との連携を更に深め、これからも地域や保護者の方々のご協力をいただき、地域とつながる行事を実施することができるよう努めます。
自己総合評価	
A	昨年より利用者アンケートの数は集まったが、よりよい児童館・児童クラブ運営に反映させるため、質問項目の見直しが必要だと感じた。利用している一人ひとりの声をより多く集め、「何を求めているのか。」をしっかりと把握し見直していきたい。

9. 所管課意見

西部児童館内で各種事業を展開する際、感染症対策等に最大限の注意を払いながらも積極的に事業を行っており、多くの方々に参加頂いている。特にInstagramを活用しながらの情報発信は、児童館事業の楽しさや魅力など積極的に行ったことが利用者増に繋がったと感じている。また、アンケートの実施方法についても手法を再度検討し、令和5年よりもサンプル数を多く回収し、調査・分析を行っているので、今後の児童館運営にぜひ活かしてほしい。 なお、西部児童館事業が地域に定着していると感じているが、現状に満足するだけではなく、新しい地域団体、町内保育所・幼稚園、さらには中高生等との交流を今まで以上に積極的に行ってほしい。

最終評価

総合点数
85
最終評価
S



利府町西部児童館 モニタリング評価【事業評価シート】

利府町

評価年度

令和 6 年度

1. 事業実施状況

(1) 指定事業

※各事業の詳細は別添事業報告シートを参照のこと

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
児童館 （児童健全育成事業） （地域交流推進事業）	31回	「3つ（笑顔・仲間・支え合い）のいっばいを増やす。」そして、「利用者また地域の方一人ひとりのつながりを大切にする。」を重点目標に掲げ、利府西部地域の方々や関係機関との連携を強化し、こどもたちの居場所について考え実践してきました。	○	○
児童クラブ （放課後児童健全育成事業）	9回	こちら「3つのいっばいを増やす。」そして「こどもたちと保護者の方々一人ひとりのつながりを大切にする。」を重点目標に掲げ、こどもが自発的に児童クラブに通える様に、生活の中で以下の7つの項目を意識しデイリープログラムを充実させます。 ①あそび・②くつろぎ・③生活に必要なこと・④自主的に学習する・⑤集団で生活するために必要なこと・⑥静養する・⑦季節の行事また文化的活動を行い、安心と安全に留意しながら運営しました。	◎	○
子育て広場 （子育て支援事業）	34回	子育て支援は「0～18歳まで」ということを再確認し、産後からではなく、妊娠期からの切れ目ない支援を様々な機関と連携しながら実践しました。 それは妊娠期からの子育て・乳幼児親子の活動など、親子一緒になって楽しむ身体あそび・絵本の読み聞かせ・工作や音楽遊び 等みんなで楽しさを体験できる場を提供し、また「親と子の育ちの場」としてコミュニケーションを大切に実践しました。	○	○
評価点			7	6

(2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業				
みんなであそぼう	10回	130名参加 こどもたちの「やってみたい！」を吸い上げ、工作・運動や調理など、みんなで楽しめる行事を実現しました。	○	○
こどもボランティア	10回	40名参加/ 7名登録 小学4年生～中学生を対象とした活動で、こどもボランティアとして、児童館行事のお手伝いや、自分たちで企画した行事を実施しました。「菅谷台納涼祭の準備」や地域の清掃活動など行いました。	◎	○
スタッフカレー わんこそうめん	2回 1回	58・71名参加、73名参加 地域の方々と結成する「更生保護女性会」の方々と一緒にふれ合う企画を実施。お互いに顔の見える関係ができ、世代間交流にもつながりました。	○	○
ハロウィンおばけやしき	1回	48名参加 年に1回の収穫祭「ハロウィン」にちなんで、今年は「おばけやしき」を実施。仮装した子もあり、一緒に工作も行いました。最後にこどもたちと一緒に集合写真を撮り、一人ひとりにお菓子も配りました。	◎	◎
保育所交流	3回	51名参加 近隣保育所の「すいか組（年長）」のこどもたちを招いて、児童館の探検をしたり、どんな遊びがあるのかを体験する企画でした。	○	○
じどうかんまつり	1回	141名参加 昨年から「節分」を題材にした企画（あそび・食べ物・工作など）でリニューアル。午前中は乳幼児親子、午後は小学生以上を対象に催し物を行い、自然塾・ジュニアリーダーなど様々な方からも協力をいただきました。来館者がはじめて100名を超え、1年に1回のお祭りで最も力を入れた行事なので、評価を◎にしました。	◎	◎
児童クラブ事業				
グランディにっこう	1回	43名参加 授業参観の振替休日にスタッフ引率の元、一緒に歩いてグランディ21へ遊びに行きました。普段遊べない遊具にこどもたちは興奮し楽しみました。	○	○
プラバンづくり	1回	45名参加 こどもたち一人ひとりが、好きなキャラクターをキーホルダーにする企画。プラバンの形ができるまでの光景に、こどもたちはとてもワクワクしていました。	○	○
じゃがいも掘り	1回	26名参加 こどもたち自身が、館庭の畑づくりから育て収穫する企画。たくさん（コンテナ2個分）収穫でき、8月のカレー行事の時にみんなで食べました。	○	○
スイートポテトづくり	1回	28名参加 りふ～の畑で採れたさつまいもをスイートポテトにして、みんなでおいしく食べました。	○	○
クリスマスお楽しみ会	1回	46名参加 普段の活動の中で、こどもたちがグループに分かれ自発的に企画し、日頃の遊びの中で練習した出し物を、みんなの前で披露するお楽しみ会を行いました。	◎	◎
大掃除大作戦	1回	20名参加 「日頃使用している部屋の汚れを落とす。」という目的を持って、こどもたち一人ひとりが力を合わせて、きれいにし普段の活動もみんなで振り返りました。	○	○
初詣にっこう	1回	29名参加 新しい年を迎え、こどもたちに地域・歴史を知ってもらい、地域の仏様に挨拶に行く企画を実施しました。	○	○
りふ～の☆駄菓子屋さん	1回	51名参加 日常のおやつ時間をより楽しみに。そして自身で限られた予算で考えて選び、高学年が店員役として、異学年との交流をより深めました。	○	○

子育て広場事業				
『はい！タッチ』 ・きら☆リズム、ナーサリーリズム	7回	76名参加 音楽で遊ぶ「きら☆リズム」。英語のわらべうた・ふれ合い遊びを体験する「ナーサリー広場」。その2つを一緒に「ナーサリーリズム」を統合し活動しました。	○	○
おはなしのへや	10回	108名参加 スタッフやいろいろなゲストが絵本・紙芝居の読み聞かせや手遊び 等をして、「こどもを言葉でかわいがる。」ことの実感する機会を設定しました。	○	○
(登録制) 幼児クラブ	8回	73名参加 乳幼児親子が、楽しく遊びながら地域で友だちをつくり、孤独な子育てをしないように支援しました。こどもたちがいる生活をもっと楽しませたい。親子の「こんなことがしたい！」を応援しています。	○	○
にこにこタイム	9回	90名参加 親子のふれ合い遊びをテーマに、季節に合った遊びや制作、各月のお子さんの成長を祝い記録に残しました。	○	○
評価点			40	39

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
雪印メグミルク 食育体験セミナー	7月	35名参加 雪印メグミルクの方を講師にお招きし、牛乳を飲む事の大切さ・牛の体の特徴を学び、その後バターづくりにチャレンジし、クラッカーにつけておいしくいただきました。
海であそぼう in 浦戸野々島	7月	2日間実施：合計32名参加 利府町内の3～6年生を対象に、浦戸野々島に行き、島の方々と一緒にお手伝いやカヌー・カヤック・島めぐりをするデイキャンプを実施し、交流を図りました。
みんなであそぼう A-CUBE共催 「犬となかよくなろう」	10月	13名参加 犬について、A-CUBEの方々から、いろいろと教えていただき、接し方・散歩・ブラッシング・ごはんやり等の体験を行った。事前から「この日が楽しみ。」とウキウキ・ワクワクしていた参加者が多く、終了後、利用者アンケートからも「次年度もやりたい。」という声をいただきました。
鮪を学んでおいしく食べよう	10月	64名参加 塩釜海市場の職員の協力のもと、塩釜に水揚げされた鮪の生態や部位などの知識を取得してから、最後にみんなで鮪をおいしくいただきました。鮪の大きさにこどもたちはとても驚いていました。
みんなであそぼう 「ハーバリウムボールペンをつくろう」	11月	7名参加 こどもたちの「やってみたい！」を、こどもボランティアから吸い上げ実施。 各自オリジナルのボールペンづくりを楽しみました。
けん玉ワークショップ	2月	15名参加 石巻より「ストリートけん玉」の講師を招き、けん玉の楽しみ方や技を習った。 参加者だけでなく、乳幼児親子の見学者たちも一緒に盛り上がり楽しみました。
児童館サポート研修	5月～2月	児童館・放課後児童クラブの職員が常に向上心を持ち、利用者が楽しんで過ごしてもらうための専門職として、必要不可欠な勉強会となりました。

着色セルの事業数のみ入力	自己評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	7	14	7
	提案事業	18	36	40
	自主事業	7		7
	合計	32	50	54
	町評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	7	14	6
	提案事業	18	36	39
	自主事業	7		7
	合計	32	50	52

2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（５段階）	自己評価理由	評価（％）
A	○児童館（児童健全育成事業/地域交流推進事業） 「3つ（笑顔・仲間・支え合い）のいっばいを増やす。」そして、「利用者また地域の方一人ひとりのつながりを大切にする。」を重点目標に掲げ、利府西部地域の方々や関係機関との連携を強化し、こどもたちの居場所について考え実践してきました。 こどもたち・利用者からの発信力を大切に、近隣の保育施設との交流など、必要に応じて外部機関との連携を図りながら、活動を充実させてきました。 ○放課後児童クラブ こちら「3つのいっばいを増やす。」そして、「こどもたちと保護者の方々一人ひとりのつながりを大切にする。」を重点目標に掲げ、こどもが自発的に児童クラブに通える様に、生活の中で以下の7つの項目を意識しデイリープログラムを充実させます。①あそび・②くつろぎ・③生活に必要なこと・④自発的に学習する・⑤集団で生活するために必要なこと・⑥静養する・⑦季節の行事また文化的活動を行い、安心と安全に留意しながら運営しました。 中央児童センター・利府町児童クラブ・東部児童館とこまめに連絡を取り、児童クラブのこどもの環境を整えてきました。こどもたちや保護者の気持ちを聴き、小学校や町の担当課とも連携を図り、情報交換を密に行ってきました。 ○子育て支援事業 子育て支援は「0～18歳まで」ということを再確認し、産後からではなく、妊娠期からの切れ目のない支援を様々な機関と連携しながら実践してきました。 それは妊娠期からの子育て・乳幼児親子の活動など、親子一緒になって楽しむ身体あそび・絵本の読み聞かせ・工作や音楽あそび 等みんなで楽しさを体験できる場を提供し、また「親と子の育ちの場」としてコミュニケーションを大切に実践しました。 保護者や日中見守りをしている祖父母などに、幼児の成長に関わる必要な情報提供を行うと同時に、虐待・DV・発育遅滞などの早期発見も心掛けました。	108%

町評価（５段階）	町評価理由	評価（％）
A	西部児童館内で各種事業を展開する際、感染症対策等に最大限の注意を払いながらも積極的に事業を行っており、多くの方々に参加頂いている。特にInstagramを活用しながらの情報発信は、児童館事業の楽しさや魅力など積極的に行ったことが利用者増に繋がったと感じている。また、アンケートの実施方法についても手法を再度検討し、令和5年よりもサンプル数を多く回収し、調査・分析を行っているので、今後の児童館運営にぜひ活かしてほしい。 なお、西部児童館事業が地域に定着していると感じているが、現状に満足するだけではなく、新しい地域団体、町内保育所・幼稚園、さらには中高生等との交流を今まで以上に積極的に行ってほしい。	104%

利府町西部児童館 モニタリング評価【収支状況シート】

利府町

評価年度

令和 6 年度

●経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	前年度予算	今年度決算	予算決算比
収入 (a)	43,753,000	43,753,000	0
指定管理料	43,753,000	43,753,000	0
利用料金収入			0
(うち、減免補填額)			0
事業収入			0
その他の収入			0
支出 (b)	43,753,000	43,753,000	0
人件費	36,708,975	30,487,582	0
事務事業費	2,068,727	4,040,622	0
維持管理費	3,080,043	710,075	0
その他の支出	1,895,255	8,514,721	0
収支 (a)-(b)	0	0	0
備 考			